



1993年10月19日

フォルクスワーゲン新規設定モデル販売開始

フォルクスワーゲンアウディ日本株式会社(社長:溝口靖人 本社:愛知県豊橋市 資本金:153億6千万円)は、フォルクスワーゲン現行取扱い車種の装備・仕様を一部変更し、全国の正規ディーラー(10月19日現在:ファーレン56店、DUO55店、計111店)にて、本年11月1日より新たに販売を開始する。なお、一部の車種は千葉県千葉市の日本コンベンションセンター(幕張メッセ)で、10月23日(土)より一般公開される「第30回東京モーターショー」に出展展示される。

今回、一部の仕様・装備を変更し、輸入販売開始されるフォルクスワーゲン車は、

1. ゴルフCLi、GLi、GTI 16V、VR6、
2. VWヴェントCLi、GLi、VR6、
3. コラード16V、VR6

の合計3車種9モデル。

フォルクスワーゲンは、すでに高いレベルでパッシブセーフティ(受動的安全性)と、アクティブセーフティ(能動的安全性)技術を生産車に投入してきた。今回の仕様・装備変更の最大の特徴は、それをさらに一歩前進させたことにある。安全装備の充実として、従来からの安全対策に加え、ゴルフ、VWヴェントの全車種の運転席、助手席双方にエアバッグを採用するとともに、ゴルフ、VWヴェント、コラード全車にABS(アンチロックブレーキングシステム)を標準で装備した。さらに、全車にハイマウントストップランプを装着し、後続車でのブレーキングランプの視認性を大きく高めている。これらの対策により、今回仕様・装備変更されたフォルクスワーゲン車の能動的、受動的安全性はさらに向上した。

ゴルフ、VWヴェントについては、価格は昨今の経済諸条件に配慮し、安全性向上のための運転席、助手席エアバッグ、ハイマウントストップランプの標準装備化にも拘わらず、価格上昇を最小限におさえ、コラードについては、新たにハイマウントストップランプを標準装備とした上で、より購入し易い価格改訂を行った。